いたばし
区議会だより

第3回定例会

No.218
令和8年11月29日

発行　板橋区議会事務局
〒173-8501
東京都板橋区板橋2-66-1
☎ 3579-2704 FAX 3579-2780
https://www.city.itabashi.tokyo.jp/kugikai/









板橋区民まつり（10月17日、18日）

令和8年第3回定例会（9月18日～10月28日）

令和7年度一般会計決算及び4特別会計決算を認定

主な掲載内容	面
議案・陳情の審議結果	2
一般質問（要旨） 区政全般に対して行われた質問を紹介	3～5
決算に対する総括質問（要旨）	6
決算の概要、決算に対する討論（要旨）	7
議会トピックス	8

- 定例会では、区政の各分野における課題について、12名の議員が一般質問を行い、区長などに報告や説明を求めました（要旨を3～5面に掲載）。
- 緊急性または必要性の高い事業に要する経費などに関する令和8年度一般会計補正予算（第2号）など区長提出議案21件を可決し、議員提出議案は1件を可決し、1件を否決しました（詳細は2面に掲載）。
- 陳情は3件を採択、24件を不採択とし、その他は継続審査としました（詳細は2面に掲載）。
- 区長から提案された人権擁護委員候補者の推薦に適任との意見を付しました。

令和7年度決算の調査の経過

- 本会議3日目（10月14日）に、令和7年度一般会計及び4特別会計の決算について区長から報告がありました。
- 区議会では、全議員により構成する「決算調査特別委員会」において、延べ6日間にわたり集中的に調査を行いました（総括質問の要旨を6面に掲載）。
- 本会議最終日（10月28日）に、決算調査特別委員長が調査結果を報告し、各会派による討論を経て、令和7年度決算を賛成多数で認定しました（討論の要旨を7面に掲載）。

○ホームページでは、本会議のインターネット生中継や録画配信がご覧いただけます。
○本会議や委員会の次第、配付資料はホームページに掲載しています。　板橋区議会　検索

R70
古紙パルプ配合率70％再生紙を使用

第３回定例会の審議結果

◆議案の内容や議員ごとの態度はホームページに掲載しています。
◆会議録は１月中旬にホームページや区議会事務局、図書館、区政資料室で閲覧できます。

【議員ごとの態度】
議案　請願・陳情

■議案・陳情に対する各会派の態度

○＝賛成、×＝反対

件名			会派名など（かっこ内は所属議員数。自民党は議長を除く数）											結果
			自民党	公明党	共産党	立憲民主党	いたばし未来	日本維新の会	社民党	参政党	コモンズ	無所属議員（左から氏名の50音順）		
			(15)	(10)	(６)	(４)	(２)	(１)	(１)	(１)	(１)	(１)	(１)	
区長提出議案	予算	令和８年度一般会計補正予算（第２号）／令和８年度介護保険事業特別会計補正予算（第１号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	決算	令和７年度一般会計歳入歳出決算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
		令和７年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算／令和７年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算／令和７年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算／令和７年度東武東上線連続立体化事業特別会計歳入歳出決算	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	
	条例	個人番号及び特定個人情報の取扱いに関する条例の一部を改正する条例／印鑑条例の一部を改正する条例／家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例／幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
		区選挙長等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例／公契約条例／児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例／乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例／幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定の要件を定める条例の一部を改正する条例／指定障害児通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例／指定障害児入所施設の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例／自転車等の駐車場の整備及び放置の防止に関する条例の一部を改正する条例／区議会議員及び区長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	その他	荒川戸田橋陸上競技場改修工事請負契約／区立天津わかしお学校外１施設外壁改修その他工事請負契約／災害救助物資（簡易ベッド）の買入れについて／区立上板橋第一中学校一般備品及び消耗品の買入れについて／区立上板橋第一中学校給食用物品の買入れについて／上板橋駅東第２自転車駐車場の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案	条例	区長等の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	×	×	○	×	○	○	○	×	×	○	○	否決
	意見書	知的障がい者（愛の手帳３度・４度）に対する医療費負担軽減を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
陳情		知的障害者中度軽度の医療費軽減の意見書を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
		高齢者へのスマホ等購入助成事業の実施に関する陳情	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	
		高齢者補聴器購入費用の助成金の増額等を求める陳情　第１項　助成金増額及び要件緩和の件	×	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	
		LD（学習障害）・読み書き困難のある児童生徒への支援充実を求める陳情（助成制度導入の件）／大山町ピッコロ・スクエア周辺地区第一種市街地再開発事業に関する事業費及び事業採算性等の再検証並びに区民への説明を求める陳情／非核三原則の堅持を求める意見書に関する陳情／徳丸地域における水害対策の充実を求める陳情（被害者支援制度の周知及び充実の件）／徳丸地域におけるがけ・よう壁防災対策の充実を求める陳情（安全対策及び助成制度拡充の件）　第１項　がけ・よう壁実態調査の件／板橋区からUR都市機構に対して、「タワーマンション型超高層賃貸住宅建設を含む建替え工事」の情報開示請求をすることと、旧高七小西側区道を高島通りに接続させる延伸計画の今後について説明を求める陳情　第１項　区からURへの情報開示請求の件／第10期介護保険料の引き下げを求める陳情／第10期の介護保険料引き下げ等を求める陳情　第１項　介護保険料の引き下げの件	×	×	○	○	○	×	○	×	○	×	○	不採択
		高島平地区再開発計画における長期ビジョンの明確化および住民参画を担保する情報提供手法の整備を求める陳情　第１項　整備目標等明示の件／徳丸地域における水害対策の充実を求める陳情（助成制度拡充及び水害対策の件）　第３項　都市基盤施設水準向上の件	×	×	○	×	○	○	○	×	×	○	○	
		路上禁煙地区における喫煙に対し過料を科すことを求める陳情	×	×	×	○	×	○	○	×	○	○	×	
		「憲法９条の碑」の建立に関する陳情	×	×	○	×	01×1	×	○	×	×	×	×	
		徳丸地域における水害対策の充実を求める陳情（助成制度拡充及び水害対策の件）　第１項　土のうステーション増設の件／区施設使用料の負担軽減を求める陳情／国土交通省で策定された「トイレの便器数にかかる基準と適用のあり方に関するガイドライン」に沿った女性便器数を公衆トイレや区の施設・学校へ整備することを求める陳情（区施設トイレの件）／国土交通省で策定された「トイレの便器数にかかる基準と適用のあり方に関するガイドライン」に沿った女性便器数を公衆トイレや区の施設・学校へ整備することを求める陳情（学校トイレの件）	×	×	○	○	○	×	○	×	○	×	×	
		徳丸地域における水害対策の充実を求める陳情（助成制度拡充及び水害対策の件）　第４項　公設雨水貯水槽増設の件／徳丸地域におけるがけ・よう壁防災対策の充実を求める陳情（安全対策及び助成制度拡充の件）　第２項　がけ・よう壁工事費助成上限額引き上げの件　第３項　盛土対策補助金拡充の件第４項　通学路ブロック塀再点検の件／板橋区からUR都市機構に対して、「タワーマンション型超高層賃貸住宅建設を含む建替え工事」の情報開示請求をすることと、旧高七小西側区道を高島通りに接続させる延伸計画の今後について説明を求める陳情　第２項　区道延伸計画進捗状況の説明の件	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
		徳丸地域におけるがけ・よう壁防災対策の充実を求める陳情（土砂災害特別警戒区域指定の件）／高齢者補聴器購入費用の助成金の増額等を求める陳情　第２項　現物支給の件	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	
		気候危機対策の強化を求める陳情／志村小中一貫校の女子用トイレの個室数が男子用トイレ（小便器＋個室）の総数より同数以上の計画とすることを求める陳情	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×	
		国土交通省で策定された「トイレの便器数にかかる基準と適用のあり方に関するガイドライン」に沿った女性便器数を公衆トイレや区の施設・学校へ整備することを求める陳情（公園公衆トイレの件）	×	×	○	×	○	×	○	×	×	×	×	
		国土交通省で策定された「トイレの便器数にかかる基準と適用のあり方に関するガイドライン」に沿った女性便器数を公衆トイレや区の施設・学校へ整備することを求める陳情（集会所トイレの件）	×	×	○	○	○	×	○	×	×	×	×	
		高齢者補聴器購入費用の助成金の増額等を求める陳情　第３項　聴力検査実施の件／第10期の介護保険料引き下げ等を求める陳情　第２項　介護職員の処遇改善（意見書）の件　第３項　区独自処遇改善策の実施の件	×	×	○	○	×	×	○	×	○	×	○	

【令和８年第３回定例会で付託され継続審査となった陳情】徳丸地域における水害対策の充実を求める陳情（助成制度拡充及び水害対策の件）　第２項　止水板設置助成増額の件／障がい者が日常の困りごとから専門的なことまで相談できる機能を有する交流の場の整備に関する陳情／旧中央図書館跡地利用に関する陳情

可決した主な議案

一般会計補正予算（第２号）
補正額　96億6,300万円

総務費 福祉費 産業経済費 教育費

○施設維持改修工事等
2億149万円
文化会館や福祉園などの区立施設の維持改修工事に要する経費

福祉費

○高齢者向けスマートフォン購入費助成事業
861万２千円
高齢者のデジタルデバイド解消に向け、65歳以上の区民に対し、スマートフォン購入費を３万円を上限として助成するために要する経費

可決した意見書

知的障がい者（愛の手帳３度・４度）に対する医療費負担軽減を求める意見書（要旨）

都が実施する心身障害者医療費助成制度は、一定所得以下の方の医療費自己負担を軽減することにより、重度障がい者の医療の確保と福祉の向上に重要な役割を果たしている。

しかし、知的障がい者のうち愛の手帳３度及び４度の方については、同制度の対象外とされており、医療機関を受診した場合の自己負担は原則として３割負担となっている。

障がいの程度や経済状況にかかわらず、必要な医療を安心して受けられる体制を整備することは、障がい者の健康保持のみならず、自立した地域生活の継続、家族の負担軽減及び社会参加の促進にも資するものである。

よって、板橋区議会は、都に対し、知的障がい者のうち愛の手帳３度及び４度の方が安心して必要な医療を受けられるよう、心身障害者医療費助成制度の対象拡大その他必要な医療費負担軽減策を早急に講ずるよう強く要望する。

令和８年10月14日

一般質問

◆質問と答弁は要旨を掲載しています。
◆一般質問の全文（会議録）は、1月中旬にホームページに掲載します。
◆スマートフォンなどで2次元コードを読み取ると、各議員が一般質問をしている動画にアクセスできます。

9月18日
9月24日
本会議



さかまき常行
（公明党）

防災対策について問う

【質　問】フェーズフリーの概念を導入し、平常時から非常時まで切れ目なく機能する施設づくりを進めるべき。

【区　長】旧保健所跡地活用などに際し、フェーズフリーの視点を取り入れながら、検討・整備を進めている。今後も、平常時のにぎわいと非常時の安心・安全が両立する施設づくりを推進していく。

AXの推進について問う

【質　問】BIツールによるデータ基盤のAI接続とRAGによるエージェント化、さらには業務自動化までを一体化した次世代型の庁内業務基盤へと発展させるべき。

【区　長】各課が保有するデータを一元的に集約し、安全に利活用できる情報基盤の整備を進めている。今後は、AIとの連携による情報活用や業務支援の研究を進め、区民サービスの向上につながる方策を検討していく。

【質　問】AI－Agentプロダクト開発入門講座など、企業のAX推進につながる支援メニューが実施されているが、その評価について伺う。

【区　長】区内事業者のデジタル化やAI活用につながるものと評価しており、今後も時代の変化に対応した支援の充実に努めていく。

【質　問】ホームページにおけるAEO・LLMOの対策を強化すべき。

【区　長】蓄積したノウハウを庁内に水平展開することで、AIに正しく答えてもらうためのホームページづくりに取り組んでいく。

石神井川通行空間保全構想について問う

【質　問】桜の保全管理で伐採した木材を再利用すべき。

【区　長】他自治体の取組を参考に、木製玩具の作製など有効活用を検討していく。

【質　問】石神井川緑道は、史跡公園と一体となった景観づくり、魅力ある緑道空間となることを要望する。見解は。

【区　長】史跡公園の整備計画と整合を図ることとし、史跡公園と一体となった魅力ある緑道空間となるよう、検討を進めていく。



鈴木こうすけ
（公明党）

子ども・若者・子育て世代が住みたくなるまちを問う

【質　問】潜在保育士へのアプローチ、賃金改善、業務負担軽減、復職支援、ICT化、役割分担改革を総合的に進め、保育士が誇りを持って働ける環境を実現すべき。

【区　長】民間保育施設における保育支援者などの配置支援やICTの導入などを進め、8年度からは、潜在保育士を含む人材確保に向けた求人支援の一助となる研修なども実施している。今後も、働きやすい環境づくりに努めていく。

産業の魅力を創造・発信するにぎわいあふれるまちを問う

【質　問】事業承継支援をどのように強化していくのか。

【区　長】事業承継を企業の成長と変革の機会と捉え、経営基盤の強化や事業の発展に向けたきめ細やかな支援を実施していく。

【質　問】創業支援をどのように拡充していくのか。

【区　長】創業を志す段階から創業後の事業成長まで切れ目のない支援を行い、創業支援の充実に取り組んでいく。

地域で支え合い安心・安全に暮らせるまちについて問う

【質　問】建築物の耐震化をどのように加速させるのか。補助制度の拡充や相談体制の強化について、見解は。

【区　長】非木造建築物への助成の拡充を検討するとともに、マンション管理組合などへの個別訪問を都と連携して行い、助成制度や専門家派遣などの周知に努めていく。

【質　問】相続登記義務化を踏まえ、司法書士会との災害時における協定の締結をどのように進めていくのか。

【区　長】被災者からの法的な相談に対しては、専門的な知見が不可欠であり、機会を捉えて司法書士会と具体的な協力内容について協議を行い、相談体制の充実を図っていく。

【質　問】戸籍や住民票に関する郵送請求について、キャッシュレス決済を導入すべき。

【区　長】オンラインによる証明書の発行請求が増加傾向にあり、その拡充と合わせて、導入について検討する。

魅力ある公共施設への再編について問う

【質　問】旧板橋四中跡地活用において、スポーツができる広場の整備が計画されているが、ニーズに合わせ、フレキシブルに利用可能な多目的広場の整備が重要と考える。見解は。

【区　長】スポーツの競技利用が可能な広さ、機能を整備し、広く施設利用者や地域住民が集い・憩うことができる場としていく。様々な使われ方を想定しながら、整備・運用の検討を深めていく。



旧板橋第四中学校跡地

物価高騰に対する支援を問う

【質　問】公共工事における前払金・中間前払金の上限の撤廃について、検討状況は。

【区　長】8年度に実施した増額の効果や事業者の状況を確認するとともに、前払金の増加に伴う契約保証金の増額なども考慮し、検討を深めている。

【質　問】高齢者へスマートフォンの購入費用を助成する制度を開始するが、高齢者のデジタル活用に関する課題をどのように認識しているのか。

【区　長】7年度に実施した高齢者ニーズ調査では、公共サービスの申請に活用している方は約1割に留まっており、今後は、区として支援していく必要があると認識している。

地域課題について問う

【質　問】区立公園における手持ち花火の利用は、規制緩和が試行された。今後も安心して楽しめる環境づくりについて、検討している方向性を示すべき。

【区　長】8年度試行した現地の状況などを基に、利用ルールの見直しを検討し、9年度以降も実施する公園の拡大や利用時間の延長など、利用の緩和を段階的に進めていく。

認知症施策について問う

【質　問】認知症サポーターのステップアップとして、認知症ケア技法であるバリデーションとユマニチュードの講座を開催してみては。

【区　長】様々な手法を研究しながら、認知症に対する理解促進や本人主体の支援につながる内容を積極的に取り入れていく。

がん検診について問う

【質　問】がん検診の必要性を早い段階から意識付けることで、将来的な検診受診率の向上につながる効果が期待される。特に医学生によるがん教育を実施すべき。

【区　長】がん検診などの事業は、がん検診等運営委員会の意見に基づき実施し、委員には区内大学の医学部の教授もいることから、本件についても意見を聴取していく。

旧板橋三小跡地活用を問う

【質　問】基本理念として示されている広場・防災機能強化やコミュニティ空間整備、将来需要への柔軟な対応について、整備構想・計画にどのように反映していくのか。

【区　長】建物低層階に屋外広場などを、上層階に子ども家庭総合支援センターとの連携などの機能の配置を検討している。建物構造やゾーニング・動線などの検討を深度化し、9年度からの設計・工事へと着実につなげていく。

【質　問】本町公衆便所は、地元住民から改善の要望が出されている。新たな施設が整備される中、地域の方が使用できるトイレも整備されるがどのように対応するのか。

【区　長】公衆便所の移転を含め、利用しやすいトイレ環境の整備を検討していく。

※以上のほか、板橋区交通政策基本計画の改定について質問があった



石川すみえ
（共産党）

熊本地震の教訓を生かした災害対策を

【質　問】在宅避難者も備蓄物資の配布対象であることを周知すべき。また、備蓄物資を取りに行けない方に対し、配布する仕組みを検討すべき。

【区　長】避難所運営協議会において周知がなされている。避難所での物資受取りが困難な方に対しては、地域住民や区職員などにより、配布することを想定している。

すべての区民が安心して医療・福祉を受けられる保障を

【質　問】国に対し、マイナ保険証が弱者を置き去りにしている実態などを伝え、紙の保険証の復活を求めるべき。

【区　長】今後も、区としてマイナ保険証の利用を推進していくため、紙の保険証の復活を求める考えはない。

【質　問】障がい分野と介護分野の事業所に対する指導検査の結果を公表すべき。

【区　長】すでに公表している社会福祉法人や保育所の指導検査の取組も参考に、公表のあり方を検討していく。

【質　問】生活保護を受けているひとり親家庭の支援のため、法外援助を増額するほか、街かどフードパントリーの利用を認めるべき。

【区　長】生活保護制度は、国の責任において全国一律の基準で運用されていることから、法外援助の増額や街かどフードパントリーの対象拡大を行う予定はない。

保育施策の充実を求めて

【質　問】区立保育園の園舎老朽化を踏まえ、全区立園を対象とした建替えの計画を策定すべき。

【区　長】保育需要は出生数の動向やまちづくりの進展などにより短期間でも変動するほか、建替えには代替施設や代替地の確保なども必要となることから、全園を対象とした長期的な計画策定は難しい。

不登校対策について問う

【質　問】不登校児童・生徒に対し、昼食費相当額の支給を行うべき。

【教育長】今後、先行して取り組む他区における実施状況を調査し、支援方法など実現可能性について検討していく。

※以上のほか、ユネスコ創造都市加盟にむけての取組について質問があった



荒川なお
（共産党）

体育施設について問う

【質　問】夏季に区立庭球場を利用している方から、熱中症リスクが高いとの声が寄せられている。酷暑対策として、屋内庭球場を設置すべき。

（4面に続く）

（3面から続く）

【区　長】用地の取得や事業費、他の体育施設とのバランスなどを考えると、現時点では設置する予定はない。


区立庭球場

豪雨災害対策について問う

【質　問】豪雨などの影響により、北野小の通学路にある擁壁が崩れたことを踏まえ、早急に区内の通学路の安全点検を再度行うべき。

【教育長】学校や保護者などが合同で行う通学路の安全点検において、防災上の懸念箇所が確認された場合は、関係部署と情報共有し、対応が行われている。今後も各所からの情報も踏まえ、通学路の安全確保に努めていく。

子どもの遊び場について問う

【質　問】暑さの影響により、夏の遊び場の選択肢が限定されている。子どもが遊べる屋内施設を新たに整備すべき。


くまだ智子
（立憲民主党）

【区　長】旧板橋四中の跡地活用にあたり、児童館とｉｙｏｕｔｈの複合化による施設整備に取り組むほか、既存施設でも、魅力あるプログラムの充実を図り、屋内で遊べる場の確保に取り組んでいく。

公園・公衆トイレを問う

【質　問】女性専用トイレを増やすことについて、どのように検討していくのか。

【区　長】今後のトイレ改修において、建物を建てられる面積の制約や利用者の状況などに応じ、女性専用トイレブースの設置を検討していく。

【質　問】災害時、公園・公衆トイレに女性専用トイレが何か所必要と考えているのか。

【区　長】指定避難所をはじめ、区内各施設のトイレも活用する想定であり、公園・公衆トイレに限定して必要箇所数を示すことは困難である。

【質　問】老朽化したトイレの改修や洋式化について、計画を前倒しして実施すべき。

【区　長】改修は年間約３か所をめどに整備を進めている。また、８割を超える洋式化を達成しており、今後も計画に基づき、改修を進めていく。

※以上のほか、核兵器廃絶を求めて、としま賃上げ促進支援金、シルバーパスを無料に、物価高騰対策について質問があった

防災対策について問う

【質　問】道路の冠水による被害を防ぐため、国のワンコイン浸水センサ実証実験への参加も含め、浸水センサの設置を推進すべき。

【区　長】浸水センサで把握した情報により、どのように具体的な対策に結び付けることができるのか、他自治体の事例や成果を注視していく。

小学校の暑さ対策を問う

【質　問】多くの区立小学校では、つばのない紅白帽子を採用している。熱中症予防などのため、つばのある紅白帽子に変更するよう検討すべき。

【教育長】選定にあたっては、児童の安心・安全に配慮した教育活動を行うことを踏まえ、検討する機会をもつよう、各学校に伝えていく。


おばた健太郎
（立憲民主党）

不登校児童・生徒への支援を

【質　問】不登校により、長期間学校給食を利用できない児童・生徒に対し、給食費相当額の補助を実施すべき。

【教育長】今後、先行して取り組む他区における実施状況を調査し、支援方法など実現可能性について検討していく。

ベビーシッター利用料助成事業について問う

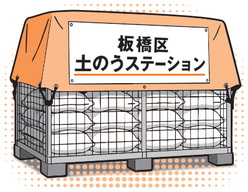
【質　問】安全性を考慮したうえで、１人のシッターによる複数保育であっても助成制度を利用できるようにすべき。

【区　長】都のベビーシッター利用支援事業について、制度改善を要望してきた。この度、一定の要件のもと、１人のシッターによる保育を認める改正が行われるため、区も８年10月から助成対象とする。

風水害対策について問う

【質　問】土のうステーションの設置地域に偏りがあるため、設置場所を増やすべき。

【区　長】浸水被害の発生状況や利用実績などを総合的に勘案し、実効性の高い箇所への整備を進めていく。



スマートシティについて問う

【質　問】現在の縦割り行政のままでは、スマートシティの実現は困難である。区長直轄の新たな部署を設置し、権限と予算をもって推進すべき。

【区　長】様々な事例を参考にしながら、機動的な意思決定を図るための体制づくりを検討していく。

介護事業者のカスタマーハラスメント対策について問う

【質　問】カスタマーハラスメント対策の義務化における区の支援とケアマネジャーの単独訪問時の安全対策について伺う。

【区　長】都は防犯ブザーや緊急通報機能を備えた機器の導入を補助するなど、訪問時の安全確保の支援を実施している。制度の周知と活用促進を図るとともに、義務化への取組状況や課題把握に努め、必要な支援につなげていく。

部活動地域移行について問う

【質　問】区が関わるクラブには巨額の公費を投じる一方、登録地域クラブには財政措置がない。支援の差の認識は。

【教育長】登録地域クラブは、民間のクラブ活動の情報提供を目的とした制度であり、さらなる支援については、認定地域クラブの制度設計において検討していく予定である。


大野ゆか
（いたばし未来）

子ども・子育て当事者に届く制度や環境づくりを問う

【質　問】５歳児発達健康診査を申込制にした理由は。

【区　長】全家庭に案内を送付しているが、実施体制の面で課題があり、保護者の意向による申込制としている。

【質　問】子育て支援サービスは、制度ごとに利用登録が必要である。一度登録した情報を活用し、その後は必要な情報のみを入力して手続きできる共通の入口を設けるなど、利用登録の一元化を図るべき。

【区　長】区内外の医療機関などの協力を得ており、異なる予約方法であることや、複数自治体の利用登録の一元化を含め、サービスを一体的に利用できる環境整備について研究していく。

【質　問】産後ケアについて、利用者の希望から施設を探し、特徴の比較や空き状況の確認、予約までを一括して行える仕組みを構築すべき。

【教育長】先行して取り組む自治体における実施状況を調査し、支援方法など実現可能性について検討していく。



【質　問】小学生を対象とした国の学校給食費の負担軽減制度を活用し、不登校などにより継続して給食を食べていない児童の保護者から停止届が提出された場合には、給食費相当額を家庭に支給する仕組みを構築すべき。

【教育長】先行して取り組む自治体における実施状況を調査し、支援方法など実現可能性について検討していく。

公契約条例の制定と入札・契約制度の一体的な改善を問う


近藤タカヒロ
（自　民　党）

【質　問】物価変動や最新の労務単価を反映した予定価格を設定するため、どのように情報収集を行っていくのか。

【区　長】事業者から寄せられる声や社会経済状況など、必要な情報を収集しており、引き続き最新の動向を的確に把握していく。

【質　問】適切に工種を分離した発注の推進や地元配慮型の入札制度など、区内中小事業者の受注機会拡大と育成に対する取組の方針を伺う。

【区　長】公契約条例案では、区内本店事業者の受注機会の確保を図り、地域経済の活性化に資することを基本方針の一つとしており、今後も区内事業者の受注や育成を促進する制度改善を進めていく。

【質　問】公契約条例において、最低賃金とは別に労働報酬下限額を設定する必要性と算定根拠を伺う。

【区　長】人材確保を通じた公共サービスの品質向上を目的として設定することとしており、最低賃金制度とは目的が異なるものと考える。算定には、設計労務単価などを基礎とし、公契約審議会での議論を踏まえ、決定していく。

【質　問】提出書類を簡素化し、事業者の自主的な誓約と簡便なチェックシートの提出で対応できる仕組みにすべき。

【区　長】労働時間の管理状況などの報告事項については、事業者の負担を考慮し、チェックシート方式の報告書で確認する予定である。

【質　問】物価や労務費などが変動した場合に、契約金額及び指定管理料を適切かつ速やかに改定する仕組みを条例や運用規則などに明確に位置付けるべき。

【区　長】公契約条例案では、物価及び人件費の変動に応じた必要な措置を講ずることを区の責務としており、今後も適切に対応していく。

【質　問】最低制限価格制度の拡充などにより、質の高い履行と適切な労務単価の確保を図るべき。

【区　長】９年度から対象契約を拡充し、まずは設備保守や樹木整備、公園清掃に最低制限価格制度を適用するよう準備を進めている。

【質　問】履行評価制度を導入し、事業者の評価を翌年度以降の入札・契約などに反映させる仕組みを構築すべき。

【区　長】履行評価制度の本格的な導入については、評価の実効性などの課題を整理しながら、検討を進めていく。

私立幼稚園について問う

【質　問】私立幼稚園に通園児の保護者に対する経済的支援の拡充と給食費無償化の導入を検討すべき。

【教育長】副食費の補助単価の増など、経済的支援の拡充を順次図っており、今後も検討を行っていく。昼食にかかる費用のさらなる支援は、引き続き検討を重ねていく。

【質　問】私立幼稚園の教職員の人材確保や処遇改善に向けた住宅補助制度の創設を都に働きかけるとともに、都の動向を見据えた支援モデルの検討を進めるべき。

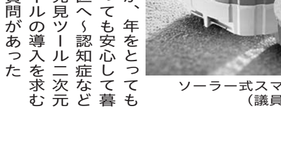
【教育長】国や都に対し、特別区長会を通じて窮状を訴えるとともに、予算化を要望している。先行実施する他区の状況を把握しながら、実現の可能性も含め検討していく。

学校給食について問う

【質　問】小学校低学年を対象に、配膳や片づけを補助する人員を配置すべき。

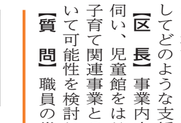
【教育長】学校栄養士の巡回時における補助や保護者有志による手伝いなどの取組を行う学校がある。引き続き学校の意見・要望を聞きながら必要な支援の検討を行っていく。

ハト等への給餌による被害防止条例について問う



【質　問】条例を制定して終わりではなく、悪質な事例に対して毅然とした姿勢で指導・取締りを行うことが重要である。対策強化の方針は。




坂田れい子
（参　政　党）

【質　問】私立幼稚園に通園児の保護者に対する経済的支援の拡充と給食費無償化の導入を検討すべき。

【教育長】副食費の補助単価の増など、経済的支援の拡充を順次図っており、今後も検討を行っていく。昼食にかかる費用のさらなる支援は、引き続き検討を重ねていく。

【質　問】私立幼稚園の教職員の人材確保や処遇改善に向けた住宅補助制度の創設を都に働きかけるとともに、都の動向を見据えた支援モデルの検討を進めるべき。

【教育長】国や都に対し、特別区長会を通じて窮状を訴えるとともに、予算化を要望している。先行実施する他区の状況を把握しながら、実現の可能性も含め検討していく。

学校給食について問う

【質　問】小学校低学年を対象に、配膳や片づけを補助する人員を配置すべき。

【教育長】学校栄養士の巡回時における補助や保護者有志による手伝いなどの取組を行う学校がある。引き続き学校の意見・要望を聞きながら必要な支援の検討を行っていく。

若年世代の定住促進策を問う

【質　問】子育て支援サービスの中には、子どもの同伴不可などのルールにより、利用を断念するケースが散見される。運用改善を図るべき。

【区　長】共働き世帯や多子世帯も利用しやすいサービスとなるよう、運用改善や利便性の向上に努め、子育て世代に選ばれるまちの実現につなげていく。

【質　問】区立公園での手持ち花火の実証実験について、検証結果と今後の展開を伺う。

【区　長】アンケート調査では、全体の95％の方から花火利用の規制緩和に賛成との回答があった。利用ルールの見直しを検討し、９年度以降も、実施する公園の拡大や利用時間の延長など、花火利用の緩和を段階的に進めていく。

【質　問】北区の小学校の火災事故を受け、出火防止策や火災対策の確認をどのように行ったのか。

【教育長】消防設備の適切な操作方法の理解を深めることやコンセント周りの清掃などの漏電対策など、一層の防火安全対策の徹底を図っている。

外国人との共生と規制を問う

【質　問】外国人の国民健康保険料の滞納について、東京出入国在留管理局との情報連携による成果は。

【区　長】７年８月から開始した「協力要請制度」の連携により、８年８月末時点で、合計452人を情報連携し、そのうち納付したのは245人、収納額は約５４４０万円である。

【質　問】民泊の規制について、将来的な対応に向けた準備が必要と考えるが、見解は。

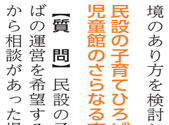
【区　長】今後も、民泊施設や苦情の動向を注視し、事業者への業務停止命令や条例改正など、状況に応じて柔軟かつ適切に対応していく。

さらなるＡＩの活用を問う

【質　問】若手職員へのノウハウの継承や窓口対応の質の向上には、窓口支援ＡＩの導入が有効と考える。方針は。

【区　長】警察などとの連携を深めるほか、巡回指導員の機動的な出動体制の拡充、重点的に指導を行うエリアの設定に取り組んでいく。

※以上のほか、東武東上線連続立体化事業における中板橋駅周辺の位置付けについて質問があった


しいなひろみ
（無所属議員）

徳丸三丁目都改官舎跡地に防災機能を兼ね備えたインクルーシブ公園の設置を求めて

【質　問】区から日本郵便へ積極的に働きかけ、将来の用地取得を視野に入れた協議を進めるべき。

【区　長】地域の関心も高いことから、適宜、所有者の意向を確認し、今後の方針が明らかにならなかったときには、適切な対応を検討していく。

介護職員の人材確保のために

【質　問】区独自の「訪問介護員移動手当」を創設すべき。

【区　長】移動を含む処遇は、介護報酬制度の中で安定的に確保されることが基本であり、現時点で創設する考えはない。

【質　問】徳丸三丁目29番地・30番地と徳丸四丁目20番地に29番地に囲まれた交差点に、ソーラー式スマート安全道路鋲の設置を早急に検討すべき。

【区　長】これまでも、交通管理者と連携しながら、できる限りの安全対策を講じており、さらなる対策は考えていない。


ソーラー式スマート安全道路鋲
（議員提供）

※以上のほか、年をとっても障がいがあっても安心して暮らせる板橋区へ～認知症などのいち早い発見ツール二次元コードやシールの導入を求む～について質問があった

令和7年度決算に対する総括質問（要旨）

◆総括質問の全文（会議録）は、1月中旬にホームページに掲載します。
◆スマートフォンなどで2次元コードを読み取ると、各議員が総括質問をしている動画にアクセスできます。

10月22日・23日・26日
決算調査特別委員会

大野治彦（自民党）

危機管理政策について問う

問 町会・自治会などが設置する防犯カメラの維持管理費について、都が全額負担するよう強く要望すべき。

答 今後も引き続き、機会を捉えて強く要望していく。

横川たかゆき（自民党）

基金運用益について問う

問 さらなる運用益の確保をめざすべき。

答 現在の金利上昇局面などの社会情勢を鑑みると、債券比率を高め、運用益のさらなる確保に努めるべきと考える。

民泊について問う

問 条例改正案において、制限区域の拡大を既存施設に遡及適用しないこととした法的・政策的な理由を伺う。

答 行政指導により是正を確認できることが多い状況などから、適用しないこととした。今後も条例改正も含め、的確に対応していく。

エコポリスセンターの事業展開について問う

問 区内企業と連携し、廃材を活用したものづくり体験などの事業を展開する考えは。

答 今後、地域資源となる区内企業との連携を深め、事業を展開していく。

小竹向原駅1番出口へのエレベーター設置決定を受けて

問 今後の事業の進捗管理と東京メトロとの連携について、見解は。

答 東京メトロとの情報共有を密に行いながら、事業の進捗状況を継続的に把握し、整備が着実に進められるよう連携して取り組んでいく。

都立城北中央公園の再整備について問う

問 整備内容の一層の充実に向けて、都へ積極的に働きかけるべき。

答 上板橋地域全体の価値を高めるものとなるよう、都への働きかけを一層強めていく。

山田たかゆき（自民党）

水害対策の強化について問う

問 止水板設置工事助成制度をマンション管理組合が利用しやすい制度へと拡充すべき。

答 相談があれば、制度を丁寧に説明し、活用してもらえるよう対応していく。

文化活動助成の充実を求めて

問 目的や規模に応じた複数の助成メニューを設け、より多様な文化活動を支援できる制度へ発展させるべき。

答 現時点では、助成メニューを増やす予定はないが、文化・国際交流財団と協議しながら、利用しやすい制度となるよう今後も取り組んでいく。

実正やすゆき（公明党）

子育て支援について問う

問 子育て世帯住宅リフォーム支援事業及び多世代住み替え支援事業の今後の方針は。

答 これまでの実績などを検証し、必要に応じて見直しを図りながら、より実効性のある事業として発展させていく。

子育て支援離職防止へ

問 育児・介護休業法の改正により、介護離職防止のための措置が事業者の義務となった。区内事業者への支援策を。

答 法改正の周知徹底を図り、国や都の助成金などの活用促進を図るなど、多様な方が安心して働き続けられる事業者の環境整備を支援していく。

蓋が閉まるタイプの防鳥用ネット貸出しについて問う

問 導入の検討状況は。

答 8年度中に袋型の防鳥用ネットをモデル集積所に試行的に導入する予定であり、その検証結果を踏まえて、導入の可否などを検討していく。

大雨時の情報提供を問う

問 都と連携し、道路の冠水情報をカーナビに表示する仕組みを導入すべき。

答 区が把握している情報を反映してもらえるよう、都や警察と協議しながら進める。

佐々木としたか（自民党）

東武東上線連続立体化と駅周辺のまちづくりについて問う

問 今後策定する中板橋駅周辺地区まちづくりの基本計画は、中板橋駅の鉄道立体化を見据えた計画となるのか伺う。

答 鉄道立体化を見据えた安心・安全なまちづくりを促進するための計画策定を行う。

子ども（乳幼児）教育を問う

問 幼稚園教育要領に示されている「生きる力」の基礎を育むことについて、区の対応は。

答 区内幼稚園では、幼児の興味・関心に応じた探究活動や異年齢交流など、多様な人と関わる活動を行っている。

夢の板橋区横断鉄道（三田線延伸）の実現へ

問 都営三田線と都営大江戸線の連結構想を提案するが、見解は。

答 提案の連結構想により、アクセス利便性の向上に資することが期待できるが、今後の研究課題とする。

上板橋体育館について問う

問 トイレの全面洋式化に向けた改修計画の進捗状況は。

答 1階ロビーの女性用トイレの一部を8年度中に洋式化する予定である。今後も、施設の利用状況などを考慮しながら、順次対応していく。

いがらし学（公明党）

台風接近時の「すぐーる」による情報提供について問う

問 休校などの判断内容に変更があった場合の情報提供について、改善すべき。

答 今後、対応方針の変更が生じた場合には、保護者への依頼事項などを明確にし、わかりやすく伝えていく。

あいキッズについて問う

問 都の補助事業である学童クラブ従事職員宿舎借り上げ支援事業を活用すべき。

答 制度内容などを含めた他区の実施状況を把握するとともに、費用対効果も勘案し、活用の必要性を検討していく。

問 9年度中に、朝の居場所事業を全51校で実施すべき。

答 現時点では、順次開始していくことが妥当であると考えている。

不登校支援について問う

問 保護者が最初に相談できる学校外の窓口に関する情報を一元化した「不登校支援ガイド」を作成し配布すべき。

答 都や区のサイトにて、情報の整理と一元化が行われているため、ガイドを作成し配布する予定はないが、ホームページをよりわかりやすい内容にする工夫を行っていく。

小柳しげる（共産党）

商店街支援について問う

問 にぎわいのあるまちづくり事業について、活用が進まない要因は、手続きなどの面で課題があるからではないか。

答 最大限活用されるよう各商店街に寄り添い、継続的なにぎわい創出を図っていく。

家庭ごみの有料化を問う

問 区長は特別区長会で反対の立場を示すべき。

答 区として賛成または反対の立場を述べる段階にはなく、区民生活への影響などを踏まえ、適切に対応していく。

障がい者福祉センターの機能整備について問う

問 相談機能だけでなく、居場所などの機能も検討すべき。

答 利用者の居場所となる空間の確保を図ることとしており、必要な機能の具体化について検討を進めている。

いわい桐子（共産党）

新河岸地域の課題を問う

問 事業者が産業廃棄物処理業を始めるにあたり、施設の予定地が学校から100ｍ未満の場所で、処理能力が５ｔ以上の場合、建築基準法第51条に抵触するのではないか。

答 一定の規模を超える場合、都市計画審議会の議を経て、その敷地の位置が都市計画上支障がないと認められたうえで、許可を受ける必要がある。

障がい者と家族を支える仕組みを求めて

問 障がい者を介護する家族が急病や事故などで支援できなくなった場合に備え、24時間365日対応できる仕組みが必要と考える。見解は。

答 障がい者が安心して生活を続けるために、緊急事態が生じた場合にも必要な支援につながる体制を確保することが重要であると認識している。

岩永きりん（立憲民主党）

災害対策について問う

問 今後、浸水被害に遭った方に対し、災害見舞金を含めた支援制度の周知をどのように行っていくのか伺う。

答 ホームページの内容充実に加え、広報いたばしの活用も検討するなど、わかりやすい情報発信の充実に努める。

子どもインフルエンザ任意予防接種助成事業について問う

問 早期の流行も見越し、助成開始の前倒しに対応すべき。

答 今後の流行状況を注視するとともに、助成開始時期のあり方について、引き続き情報収集に努めていく。

おなだか勝（立憲民主党）

あいキッズについて問う

問 学校休業中の弁当配食サービスについて、無償提供を検討すべき。

答 現時点で実施する考えはないが、引き続き保護者にとって利用しやすいあいキッズの運営に努めていく。

介護保険料について問う

問 第10期介護保険事業計画では、保険料抑制のため、準備基金を大きく取り崩すべき。

答 被保険者負担への配慮と制度の安定的な運営の両立を図る観点から、基金の取崩額と保険料基準額を一体的に検討し、適切な水準を判断していく考えである。

井上温子（いたばし未来）

大山の再開発について問う

問 「身の丈再開発」がなくなったことは、区に大きな責任があると考える。見解は。

答 事業費を算出できず、デベロッパーの力を借りる必要が生じたため、事業選定へと進んだと理解している。

小野ゆりこ（日本維新の会）

区民への還元について問う

問 今後の方針について伺う。

答 直接的な支援のみならず、ソフト事業の展開や公共施設などの整備をはじめとする実施計画事業を進め、区民サービスの向上を図っていく。

五十嵐やす子（社民党）

介護現場を支えるために

問 訪問介護員の移動負担が報酬に十分反映されていない。区独自の移動手当の創設を。

答 介護報酬制度の中で確保されることが基本と捉えており、創設は考えていない。

坂田れい子（参政党）

有機米の導入について問う

問 学校給食への有機米の導入を試行的に実施し、効果や課題を検証すべき。

答 有機米を含む有機食品をスポットで活用することも含め、検討していく。

中妻じょうた（コモンズ）

路上喫煙対策について問う

問 喫煙マナー指導員の拡充や公衆喫煙所の整備、過料制度の導入など、対策の強化を。

答 課題を整理し、実現可能なものから前に進め、対策の強化に取り組んでいく。

しいなひろみ（無所属議員）

身寄りのない高齢者への緊急時支援体制の整備を問う

問 緊急連絡先の登録を必要とする事業において、連絡先を確保できない方への対応は。

答 民間の身元保証サービスなどの利用を案内している。

大森大（無所属議員）

学校の防火・避難体制を問う

問 教職員の私物の持込みや可燃物の管理状況など、各学校の実態を把握しているのか。

答 学校施設を整備・点検することを目的として、毎年、学校整備月間を実施している。

令和７年度　決算の概要と決算に対する討論（要旨）

令和７年度各会計歳入歳出決算

会計名		予算現額	歳入 決算額	歳出 決算額
一般会計		3,045億1,665万4,000円	3,057億5,572万5,279円	2,891億643万8,841円
特別会計	国民健康保険事業	544億5,000万円	539億4,786万8,452円	529億7,503万4,383円
	介護保険事業	498億7,000万円	500億6,827万3,420円	491億2,182万8,185円
	後期高齢者医療事業	152億1,900万円	152億5,167万8,527円	151億5,313万4,302円
	東武東上線連続立体化事業	10億8,049万8,000円	10億8,965万2,510円	9億9,410万6,023円

共産党　反対　一般会計、４特別会計

区民生活を支える公共の役割こそ、自治体に求められる使命

●区民生活の厳しさへの認識が不十分であり、実態に即した対応となっていない。
●No.１実現プランに基づく財政執行は、区民負担を増やし福祉を後退させる結果となった。
●公共施設の整備計画において、総量抑制の考えのもとで集約・複合化が優先され、区民の要望が退けられている。
●大規模な市街地再開発事業は、住民への説明責任を果たさず強行し、住民を追い出し、「まち壊し」につながっている。
●「学校をなくさないで」という声に背を向ける姿勢が、教育施策の歪（ひず）みを生み出している。
●基金の積立てだけを最優先している姿勢は、区民の理解を得られるものではない。

自民党　賛成　一般会計、４特別会計

７年度までに築いた土台を礎に新たな基本構想に描いた10年後の姿へつなげ、「東京で一番住みたくなるまち」の実現を

●７年度を「父親支援元年」とし、ウェルカムベビー講座などを実施したことを評価する。
●戸籍住民課の対話型AIによる電話対応の導入や区民事務所などでのキャッシュレス決済の拡大など、業務効率化の進展を評価する。
●「絵本のまち」を子育てや木育、まちづくりなどと幅広く掛け合わせた取組を評価する。
●10年後、20年後を見据え、事務事業評価とビルド・アンド・スクラップを徹底し、限られた財源を効果のある施策に重点的に配分を。
●不用額と予算流用が生じた原因を分析し、より精度の高い予算編成に努めるべき。
●金利が上昇している情勢を踏まえ、財政調整基金など各種基金の効果的な運用を求める。

公明党　賛成　一般会計、４特別会計

未来への投資と財政規律を両立する持続可能な行財政運営を

●不登校児童・生徒への新たな支援であるバーチャルフレンドパークは、保護者に寄り添う重要な事業として高く評価する。
●介護現場の人材不足に対応するため、ICT化の促進を図り、業務の効率化と平準化を。
●いたPay健幸ポイント事業について、さらなる事業の拡大と周知を要望する。
●がん患者等アピアランスケア支援事業について、ウィッグなど購入費助成の拡充を評価する。
●絵本のまち板橋を推進するため、あらゆる分野で絵本のすばらしさを生かした取組を。
●舟渡・新河岸地区における水害対策を目的とした整備は、区民の意見を聞きながら進めていくことを求める。

立憲民主党　賛成　一般会計、４特別会計

健全な収支の均衡に努め、税外収入も含めた自主財源の確保を

●水害対策として、災害見舞金の増額や土のうステーションの増設などを求める。
●あいキッズによる朝の居場所事業や不登校児の居場所事業の開始を高く評価する。全校への拡大に向けて、安定した人材の確保を。
●インフルエンザ予防接種事業は、早期の流行を想定し、助成開始の前倒しなどの検討を。
●大山町ピッコロ・スクエア周辺地区における区有地の転出補償金である約14億円の一部を大山の活性化のために活用すべき。
●公契約条例の施行に向けて、実効性のある制度として定着できるよう、遅滞なく準備を。
●第10期介護保険事業計画では、準備基金を最大限取り崩し、保険料の上昇を抑制すべき。

いたばし未来　賛成　一般会計、４特別会計

住民との対話を重ね、互いに歩み寄りながら進める地域づくりを

●育児支援ヘルパーや産後ドゥーラの利用料の一部負担軽減を評価する。今後は相談から利用までを円滑につなげる真のDXを求める。
●子どもワークショップは、子どもたちがまちづくりに参加していると実感できる取組を。
●地域福祉コーディネーターや民生・児童委員などは、それぞれの役割を生かし、ともに対応できる体制づくりを。
●ブランド戦略は、区の魅力発信とともに、人とつながる機会の創出を。
●在宅避難者にも必要な情報や物資、支援が届く体制整備を求める。
●大山における再開発事業は、住民の意向を丁寧に受け止め、責任を持って取り組むべき。

コモンズ　賛成　一般会計、４特別会計

区民に対し、積み上げた財源を早く、確実に届ける区政を

●喫煙マナー指導員の拡充や公衆喫煙所の整備など、路上喫煙対策を力強く推進すべき。
●いたばし区民生活応援事業は、物価高に苦しむ区民に対する施策として評価するが、手法や執行の適切性には議論の余地がある。
●ＡＩとデジタルの活用により生まれた時間を区民と向き合う時間に振り向けるべき。
●ケースワーカーや保健師、障がい福祉の担当職員など、業務量に応じた適切な配置を。
●グリーンホール施設再整備における障がい者福祉センター機能の整備については、当事者の声を直接聞く機会を設けるべき。
●災害ボランティアの重要性を認識し、区の防災施策の中に位置付けるよう求める。

議会トピックス

議会運営委員会視察

地方都市における議会運営を参考とするため、議会運営委員会が行政視察を実施しました。

●兵庫県神戸市（７月15日）
　DXなどによる議会活性化の取組について
●愛知県名古屋市（７月16日）
　開かれた議会の推進に向けた施策について





常任委員会視察

他の自治体の先進事例について調査・研究するため、各常任委員会が行政視察を実施しました。

企画総務委員会

●鹿児島県南九州市（７月27日）
　平和事業について
●鹿児島県鹿児島市（７月28日）
　シティプロモーション戦略について



区民環境委員会

●福島県福島市（７月22日）
　多文化共生センターYuiverse（ユイバース）の取組について
●宮城県仙台市（７月23日）
　起業・スタートアップ支援施策について



健康福祉委員会

●福岡県久留米市（７月29日）
　団体協働による重層的支援体制の整備について
●福岡県福岡市（７月30日）
　認知症フレンドリーシティ・プロジェクトについて



都市建設委員会

●京都府京都市（７月30日）
　地域主体による公園の管理運営（Park-UP事業）及び非居住住宅利活用促進税について
●岐阜県岐阜市（７月31日）
　自動運転バス（GIFU HEART BUS）について



文教児童委員会

●三重県津市（７月22日）
　大学との連携による子ども教育センターの取組について
●三重県松阪市（７月23日）
　ICTを活用した教育活動について



令和８年第４回定例会の開会予定

11月17日（火）	告示、議会運営委員会
11月26日（木） 27日（金）	本会議（一般質問）
12月１日（火）	企画総務委員会 区民環境委員会 健康福祉委員会
12月２日（水）	都市建設委員会 文教児童委員会
12月７日（月）	議会運営委員会
12月８日（火）	DX推進調査特別委員会、孤独・孤立対策調査特別委員会
12月９日（水）	災害対策調査特別委員会、文化芸術・多文化共生推進調査特別委員会
12月11日（金）	議会運営委員会
12月14日（月）	本会議

●会議は原則として午前10時に開会予定です（議会運営委員会は午後１時から）。日時は変更となる場合があります。

●手話通訳は希望日の７日前、一時保育は希望日の10日前（土日祝日を除く）、ヒアリングループ（磁気誘導ループ）の利用（委員会室のみ）は希望日の３日前（土日祝日を除く）までにお申し込みください。

●本会議の様子は、インターネットでライブ中継及び録画配信を行います。ホームページよりご覧ください。

広島市・長崎市平和記念式典への参列

悲惨な原爆の記憶を風化させず、核兵器のない平和な世界の実現をめざすため、板橋区議会の代表が広島市と長崎市で開催された式典に参列しました。

●広島市平和記念式典

　原爆投下から81年目の８月６日、「広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式」が開催されました。
　板橋区議会を代表して佐々木としたか、川口雅敏、田中いさお、鈴木こうすけ、石川すみえ、おなだか勝、大野ゆかの７名の議員が参列しました。



●長崎市平和祈念式典

　原爆投下から81年目の８月９日、「長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」が開催されました。
　板橋区議会を代表して田中しゅんすけ、成島ゆかり、小林おとみ、坂田れい子、しいなひろみの５名の議員が参列しました。

